



西高祭、体育祭も無事に終わり、秋らしい涼しさを感じるこの頃ですね。
季節の変わり目です。体調管理に気をつけて、文武併進にまい進してほしいものです。

地震・自然災害等、防災への準備の大切さ！

北海道地震、関西地方などの豪雨等、最近自然災害による痛ましいニュースが続いています。鳥取でも、幾度か自然災害に見舞われました。記憶に新しい今年の7月豪雨は、今も被害の爪痕を残しています。地震についても、2年前に中部震災、18年前には西部地震がありました。

また、75年前の鳥取大震災（1943年9月10日）では、多くの命が失われました。国の防災の日は、「政府、地方公共団体等関係諸機関をはじめ、広く国民が台風、高潮、津波、地震等の災害についての認識を深め、これに対処する心構えを準備する」とことし制定された啓発日で、日付は9月1日ですが、鳥取市では、鳥取大地震の経験と教訓を後世の市民に継承し、市民の防災意識の向上を図るとともに、災害に対する備えを充実強化するため、9月10日を鳥取市防災の日として定めています。

「備えあれば憂いなし」といいます。他人事ではなく、「自分や家族にも起こりうること」として、9月は、防災について改めて考えてみる機会をもってほしいと思います。

非常用持出品も、時折、確認してみることが大切です。

非常用持出品「消防庁 地震防災マニュアル」より (www.fdma.go.jp/bousai_manual/too/tool.html)

- ① 貴重品（現金、通帳、カード、健康保険証、運転免許証等は番号を控えるかコピーを）
- ② 避難用具（懐中電灯、携帯ラジオ、予備の乾電池、ヘルメット・防災頭巾）
- ③ 生活用品（厚手の手袋、毛布、缶切り、ライター・マッチ、ナイフ、携帯用トイレ）
- ④ 救急用具（絆創膏・消毒液等、処方箋の控え、持病の薬、生理用品）
- ⑤ 非常食（乾パン、缶詰、栄養補助食品、飴・チョコレート、飲料水）最低3日分用意
- ⑥ 衣料品（下着・靴下、長袖・長ズボン、防寒用ジャケット・雨具）
- ⑦ その他（携帯用カイロ、マスク、ホイッスル等）

想像力を高めて「もしも」に備える



万一、家族とはぐれたときや予期せぬ災害に見舞われたときのために、日頃から家族や友人・ペット等、大切な人やモノの写真や情報をもっておくと、「絶対に無事に帰る」という気持ちが高まるのだとか。

LINEの既読機能が生まれたきっかけは、東日本大震災の教訓からというのは有名な話ですが、安否の確認がとれることは、確かに「安心感」が得られます。ただ、電源が切れたり、大きな震災時には、すぐにつながらないこともあるでしょう。そんな時にも、「絶対大丈夫！」と自分を信じる力、想像力を高めて、「絶対無事に帰る」という強い気持ちがあれば、危険を回避していくことにつながると思います。

10月に実施される避難訓練も、想像力を高めて「もしも」に備えた行動ができることを期待します。

（避難訓練時に防災に関する講演会を実施します。講師：鳥取大学大学院工学研究科 黒岩正光 氏）